



宇和島城



国史跡 宇和島城



自然とともにある城

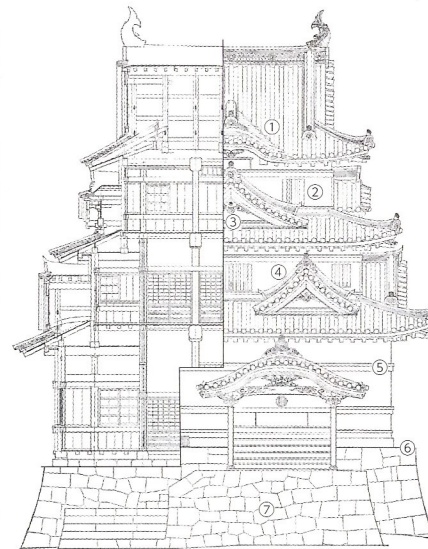
“伊達十萬石の城下町”と呼ばれ、江戸時代から四国西南地域の中心として発展してきた宇和島市は、日本屈指のリアス式海岸地帯にあります。城はその最深部、現市街地のほぼ中央に鎮座し、慶長元（1596）～6（1601）年の藤堂高虎創建時には大半が海に面する地形を巧みに活かした縄張となっていました。石垣や天守、櫓は、慶長20（1615）年に入部した伊達家により修築されていきますが、基本的な城構えは高虎時代のものを踏襲していました。

現在、堀は全て埋められ、三之丸をはじめ総郭部分約28万㎡は失われてしまいましたが、本丸・二之丸等の郭を含む約10万㎡の城山は、国史跡（昭和12年）に、現存12天守の1つに数えられる天守は国重要文化財（昭和9年）、そして南側登城口城門の上り立ち門は市指定文化財（昭和38年）に指定されています。

また城山には450種の草木が生い茂り、苔むした石垣群と織り成す幽玄の美の世界は、一見の価値があります。



華麗さと格式を併せ持つ天守



●高さ：15.72m（礎石～大棟）
●面積：212.75㎡（1階軒面積）
①軒唐破風 ②武者窓 ③懸魚 ④千鳥破風
⑤長押（がし） ⑥犬走 ⑦天守台

藤堂高虎が創建したとされる望楼型天守を、宇和島伊達家2代宗利が寛文6（1666）年頃に、3重3階総塗籠式、層塔型に再建したものが現在の天守です。

各階の装飾性の高い破風や懸魚などから太平の世を象徴するものとして評されるとともに、小さいながらも御殿建築の意匠が随所に見られ、非常に格式を重んじた造りとなっています。

万延元（1860）年、昭和35年に大修理を受けていますが、往時の姿を今もなお伝えてしています。



●慶長創建天守（復元：三浦正幸 / 着色：佐藤大規）



城山まっぷ

正徳元（1711）年の絵図や調査成果をもとに作成したものです



上り立ち門

城山南側の搦手道口に位置し、武家の正門とされる薬医門形式となっています。現存する薬医門としては、最大級であるだけでなく創建年代が最古の慶長期まで遡る可能性を秘めた、貴重な建造物です。

山里倉庫（城山郷土館）

弘化2（1845）年、三之丸に建てられた武器庫で、現存例の少ない稀少な建物です。昭和41年、伊達家より譲渡され、城山内に移築、城山郷土館として一般公開し、城や伊達家ゆかりの資料を展示しています。

藩老桑折氏武家長屋門

城山東北側の登城口に位置する長屋門です。家老桑折家屋敷地に残されていたものを、昭和27年桑折家より譲渡を受け、現位置に移築、長屋の一部は失われていますが、市内には数少ない武家屋敷の建造物です。

保存整備事業

平成6年から着手した宇和島城の平成普請。現在は、本丸や式部丸などの傷みの認められる石垣について、調査を行いながら修理しています。その調査から知られざる宇和島城の姿が明らかになってきています。

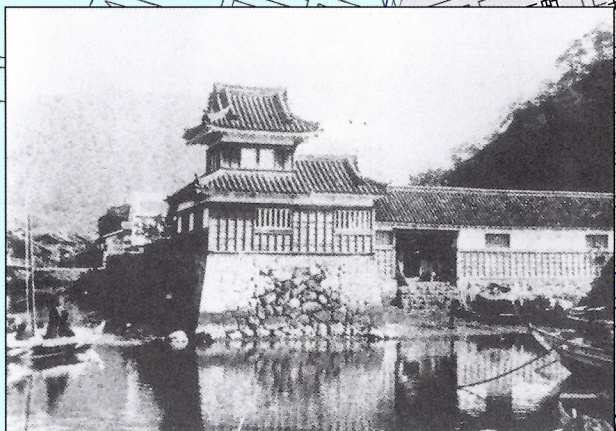
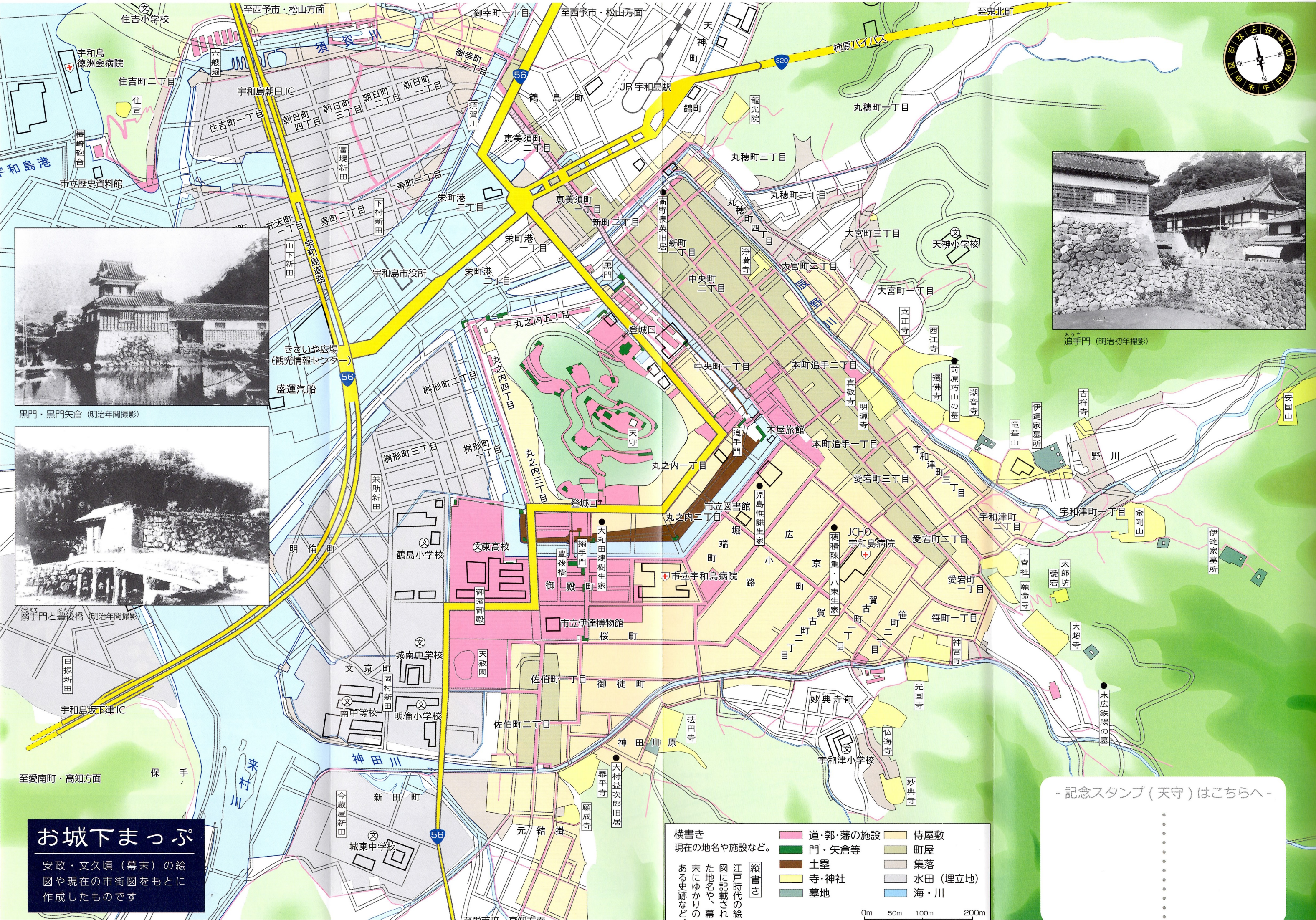


名称	開城・開館時間	料金	定休日
宇和島城（城山）	3月～10月：6:00～18:30 11月～2月：6:00～17:00	無料	
天守	3月～10月：9:00～17:00 11月～2月：9:00～16:00	200円	無休
郷土館		無料	

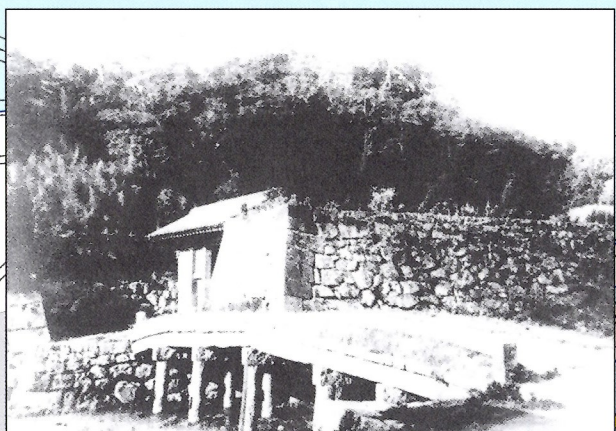
●宇和島市教育委員会
文化・スポーツ課
【Tel】0895-49-7033(直通)
〒798-8601
愛媛県宇和島市曙町1番地

●宇和島市観光物産協会
【Tel】0895-22-393
【URL】http://www.uwajima.org
〒798-0006
愛媛県宇和島市弁天町1丁目318-16

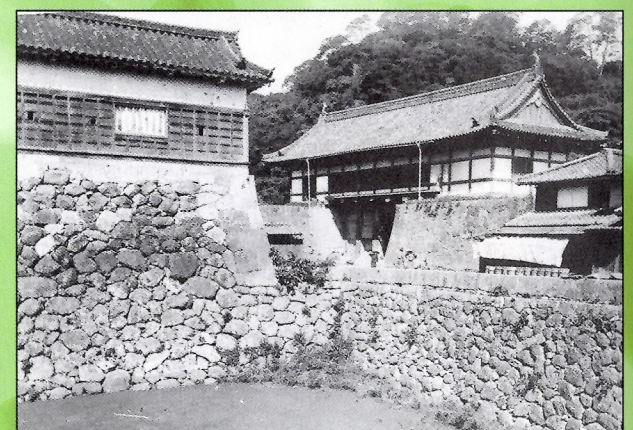




黒門・黒門矢倉 (明治年間撮影)



搦手門と豊後橋 (明治年間撮影)



追手門 (明治初年撮影)

お城下まっぷ

安政・文久頃 (幕末) の絵図や現在の市街図をもとに作成したものです

横書き	現在の地名や施設など。	道・郭・藩の施設	侍屋敷
縦書き	江戸時代の絵図に記載され、末にゆかりのある史跡など	門・矢倉等	町屋
		土塁	集落
		寺・神社	水田 (埋立地)
		墓地	海・川

0m 50m 100m 200m

- 記念スタンプ (天守) はこちらへ -

